

2017年

6月13日 火 18:45~20:30

場所 和歌山市 中央コミュニティセンター
多目的室(小) | 和歌山市三沢町1丁目2番地
☎073-402-2678

参加費 300円(資料代)

福島医療生協わたり病院医師

斎藤

Osamu Saito

紀

講演会

どなたでも
ご参加いただけます。



斎藤紀医師は長年被爆者の支援を行ってきました。チェルノブイリの被災者の相談活動、現在は福島市内の病院で被災者の診療活動に従事しています。
また、故肥田舜太郎さんと共に「死に至る虚構」国家による低線量被爆の隠蔽「低線量内部被爆の脅威(内部的)」などの翻訳をされています。

「福島第一原発の諸相」

— 福島の医師として今、伝えたいこと —

おさむ
斎藤 紀

1947年宮城県生まれ。福島医療生協わたり病院医師。福島県立医科大学卒業後、広島大学原爆放射能医学研究所で内科・臨床血液学の研究に従事。その後、88年福島生協病院病院長、07年名誉院長を経て、09年から現職。原爆症認定集団訴訟では「国は原告個々の被害の実相を見よ」と意見。リトアニア、

ベラルーシで被災者の医療相談活動に取り組む。元全日本民医連被曝問題委員会委員。現在日本原水協代表理事、核戦争防止国際医師会議(IPPNW)会員。

■主催 斎藤 紀さんの講演会を成功させる実行委員会

■連絡先 ☎073-488-7355 里崎 正 (和歌山県平和委員会内)

後援 / 核戦争防止和歌山県医師の会・原水爆禁止和歌山県協議会・非核の政府を求める和歌山県民の会・和歌山県民主医療機関連合会・和歌山県平和委員会